

Point de vue vol.10

～清水敬一指揮・松原混声合唱団を迎えて～

首藤健太郎 ソプラノとピアノのためのソナチネ ～山村暮鳥の詩による～ (委嘱初演)
Soprano:板倉まなみ Piano:稲生亜沙紀

鈴木輝昭 ピアノ三重奏曲 第1番 (委嘱初演)
Violin:鍵富弦太郎 Violoncello:富岡廉太郎 Piano:鈴木あずさ

増井哲太郎 美術館クアドラブル (委嘱初演)
Alto Flute:森岡有裕子 Violin:川又明日香
Violoncello:加藤文枝 Piano:久下未来

森 亮平 ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ (委嘱初演)
Violin:桜田 悟 Piano:森 亮平

森山智宏 シークレットカップルⅣ (委嘱初演)
Trumpet:高見信行・松山 萌

安良岡章夫 デカルコマニーⅡ ～2人のヴィオラ奏者のための～ (委嘱初演)
Viola:市坪俊彦・阪本奈津子

●招待作品

三善 晃 変化嘆詠 ～混声六部合唱、尺八、打楽器、十七絃のための～ (1975)

Conductor:清水敬一
Chorus:松原混声合唱団
尺八:坂田梁山
Percussion:高橋明邦・多田恵子 / 齋藤綾乃
十七絃:花岡操聖

〈曲順未定〉

2016
4/28
[Thu]

18:30 開場
19:00 開演

東京文化会館 小ホール

全席自由 ¥3,000

[チケット取扱い] イープラス <http://eplus.jp>
[お問い合わせ] info_point_de_vue@yahoo.co.jp
[ホームページ] <http://musique.s2.weblife.me>

企画構成:鈴木輝昭・森山智宏
後援:日本作曲家協議会・一般社団法人全日本ピアノ指導者協会
助成:アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

作曲家

首藤健太郎 Kentaro SHUTO

埼玉県立大宮光陵高校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院修士課程音楽研究科作曲専攻修了。作曲を市川景之、松尾祐孝、林達也、鈴木輝昭の各氏に師事。ピアノを五十嵐直子、平田博通、岡本愛子の各氏に師事。第14回TIAA全日本作曲家コンクール(室内楽部門)審査員賞。第20回および第24回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門「中田喜直賞の部」優秀賞。第4回東京国際歌曲作曲コンクール2位(1位なし)。現在、桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)、上野学園附属高等学校音楽科、洗足学園附属音楽教室、各非常勤講師。文部科学省認定通信教育添削員。学習院OBブラームス合唱団専属ピアニスト。Shuto Music School 代表。「みつけ」メンバー。「藤ノ会」メンバー。在学時より、作編曲・ピアノ演奏・指導・企画・コラボレーション等、幅広く活動している。

鈴木輝昭 Teruaki SUZUKI

1958年仙台生まれ。桐朋学園大学作曲科を経て同大学研究科を修了。三善晃氏に師事。第46回(室内楽)および第51回(管弦楽)日本音楽コンクールにおいて、第1位、2位を受賞。1984年、日本交響楽振興財団第7回作曲賞。'85年および'87年、旧西ドイツのハンバツハ賞国際作曲コンクール、管弦楽、室内楽両部門においてそれぞれ第1位を受賞。'88年、仙台において、オペラ「双子の星」(宮沢賢治原作)を初演。1990年、第16回民音現代音楽作曲音楽祭委嘱による、二群の混声合唱とオーケストラのための「ヒュムノス」が初演される。'91年、村松賞受賞。'94年、演奏・作曲家集団〈アール・レスピラン〉同人として、第12回中島健蔵音楽賞を受賞。2001年、宮城県芸術選奨受賞。日本作曲家協議会、同人アール・レスピラン等に所属。合唱作品の多くが出版、CDリリースされている。桐朋学園大学音楽学部、東京藝術大学にて作曲科講師を勤める。桐朋学園大学院大学教授。

増井哲太郎 Tetsutaro MASUI

1987年東京郊外に生まれる。5歳よりピアノ、14歳より作曲、16歳より指揮を始める。桐朋学園大学附属子供のための音楽教室を経て、桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)、桐朋学園大学音楽学部作曲専攻を卒業後、同大学研究科作曲専攻を修了。これまでに作曲を香月修、鈴木輝昭、指揮を高関健の各氏に師事。また公開レッスンや集中講義の場で、作曲を福士則夫、指揮を秋山和慶、飯守泰次郎の各氏に薫陶を受ける。2014年8月には「The Premiere Vol.3新作初演コンサート」に招かれ、合唱作品が初演されるとともに、同作品の楽譜とCDがカワイ出版、ジョバンニレコードより、それぞれ発売された。

森 亮平 Ryohei MORI

1989年徳島県生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。現在、同大学院指揮科に在学中。幼い頃よりピアノを始め、高校生の中から本格的に作曲を始める。クラシックを中心にポップス、ジャズ、ミュージカルなどジャンルを問わず作編曲、ピアノと幅広く活動しており、近年では室内楽の分野での活動が増えている。これまで指揮を高関健氏に、作曲を池辺晋一郎、川井学、鈴木輝昭、土田英介の各氏に、ピアノを岡原慎也氏に師事。

森山智宏 Tomohiro MORIYAMA

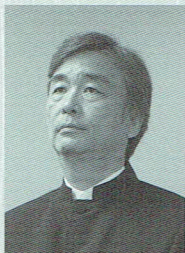
1977年生まれ。桐朋学園大学音楽学部研究科作曲専攻修了。作曲を北爪道夫、飯沼信義、鈴木輝昭、ピアノ・作曲を間宮芳生の各氏に師事。第68回日本音楽コンクール作曲部門入選。第17回奏楽堂日本歌曲コンクール(一般の部)第1位。フルーティスト間部令子氏、ピアノデュオ瀬尾久仁+加藤真一郎、東京混声合唱団、日本演奏連盟、指揮者山田和樹氏、サクサコール(サクセス四重奏)等より委嘱を受け、国内外で作品を発表。2011年・2012年ピティナピアノコンペティション課題曲作曲家。2015年カワイ音楽コンクールピアノ部門課題曲作曲家。楽譜はカワイ出版、音楽之友社、CDはFontec、オクタヴィアレコード、TOMATONE LABELより発売されている。現在、桐朋学園音楽部門の専任教員として勤務する。日本作曲家協議会会員。全日本ピアノ指導者協会正会員。

安良岡章夫 Akio YASURAOKA

1958年東京生まれ。1984年東京藝術大学大学院修了。野田暉行、三善晃の両氏に師事。1980年第49回日本音楽コンクール第1位、1982年第5回日本交響楽振興財団作曲賞受賞。1985年若手演奏家、作曲家により「アール・レスピラン」を結成、以降代表として企画・運営にあたる。その一員として第12回中島健蔵音楽賞受賞。1999年「オーケストラ・プロジェクト'99」にて〈ヴァイオリンとオーケストラのためのポリフォニア〉を発表、平成11年度芸術祭優秀賞を受賞。多彩な作曲活動続ける一方、指揮活動にも力を入れ、多数の作品の初演を手掛ける。現在東京藝術大学教授、桐朋学園大学非常勤講師。

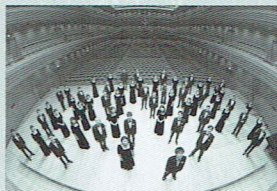
ゲスト演奏家

清水敬一 Keiiti SIMIZU



1959年東京生まれ。1982年早稲田大学理工学部電気工学科卒業。指揮法を遠藤雅古、V.Feldbrill、合唱指揮を関屋晋の各氏に師事。現在およそ20の合唱団の指揮を任される。各地で合唱とオーケストラのための作品のコーラスマスターを努め、初演した作品も数多い。2005年、世界合唱シンポジウムに於いて講師を務める。国内外の音楽祭・作曲コンクール・合唱コンクールの審査員を歴任。著書に「合唱指導テクニック」(NHK出版)。全日本合唱連盟及びJCDA日本合唱指揮者協会理事。東京藝術大学及び同大学附属音楽高等学校講師。

松原混声合唱団 Matubara mixed chorus



1953年に東京都世田谷区松原で誕生。1962年から関屋晋の指導を受けるようになり、1973年全日本合唱コンクール全国大会に初出場で金賞を受賞。1980年小澤征爾指揮でマーラー交響曲第8番《千人の交響曲》が演奏される際に、関屋晋指導の合唱団の連合体である晋友会合唱団が誕生してからは、その一員としてベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ボストン響、N響、都響、新日フィル、日フィルほか内外の主要オーケストラと共演するほか、テレビ出演、レコーディングに参加している。松原独自としても活発な演奏活動を行っており、三善晃、武満徹、池辺晋一郎、新実徳英ほか現代日本を代表する作曲家による合唱曲の初演も数多い。2007年発売の「ベスト合唱100」(EMI)では唯一の新録音を行い、2011、2015年には「ラ・フォル・ジュルネ「熱狂の日」音楽祭」においてオーケストラ・アンサンブル金沢と共演するなど新しい活動にも意欲的に取り組んでいる。常任指揮者、清水敬一。

東京文化会館
アクセスマップ

東京都台東区上野公園5番45号
TEL 03-3828-2111(代表)

電車ルート

- JR 上野駅・公園口
(山手線、京浜東北線、常磐線、常磐線、高崎線、東北本線)
- 東京メトロ上野駅・7番出口
(銀座線・日比谷線)
- 京成上野駅・正面口
(京成線)

車ルート

高速道路から
首都高速都心環状線「上野」
ランプ出口

※自動車でお越しになるお客様へ
当館にはお客様専用駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。但し、土・日・祝日は、上野公園周辺が大変混み合います。公共交通機関のご利用をお勧めします。

